

# 赤ちんぽう

(652)

## まいど

宿停 5分  
沢バス  
前バ 徒歩



ママさんと清瀬久留米支部の仲間たち

【清瀬久留米・書記・砂川恵通信員】支部から歩いて10分のところに、仲間の集まる美味しいお好み焼き屋さん「まいど」があります。

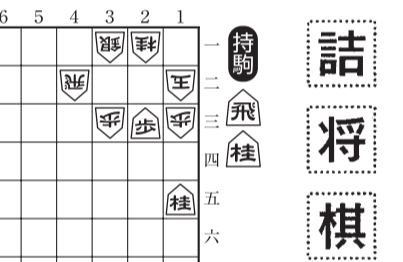
動を語り、時には楽しくおしゃべりしてお酒を酌み交わします。会議後のこのひと時が、毎年繰り出される新しいイベント誕生に一役かかっています。

## イベント誕生に一役 フワツとしたお好み焼き

「まいど」が定番です。手が空いた時には仲間のリクエストにも応えてくれます。

- 【メニュー】
- 生ビール 500円
- お好み焼き各種 650円
- おつまみ各種 300円
- 【営業時間】17時半～23時
- 【定休日】木曜
- 【住所】東久留米市八幡町1-1-21
- ☎042-470-2698

清瀬久留米支部の一大イベント流しそつめん交流会や、住宅デーの会場にも出張して腕を振るって来ています。お店では出さない屋台特別メニューの「洋食焼き」は、薄く焼いた生地に軽めの具をかけて畳んだもので、参加者にも毎回好評です。支部イベントの頼もしい協力者、気さくなママさんは清瀬久留米の仲間の一員でもあるのです。



### 詰将棋

持駒 飛桂

世界卓球選手権の女子団体戦は、韓国と北朝鮮が準々決勝戦を前にして合同チームを結成するという話題もあったが、日本チームの健闘が記憶に残る大会でもあった。

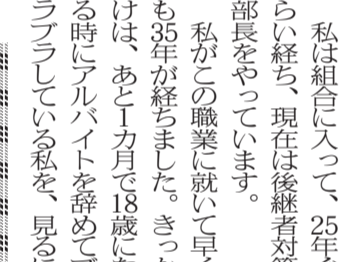
### チヨット一服 (967)

世界卓球選手権の女子団体戦は、韓国と北朝鮮が準々決勝戦を前にして合同チームを結成するという話題もあったが、日本チームの健闘が記憶に残る大会でもあった。

### 本ほん

若竹千佐子

小説の桃子さんは結婚式3日前に岩手を飛び出し、上野駅に降り立った。その後、ご主人とめぐり合い都市近郊で2児を育てた普通の専業主婦。子どもたちが独立したときに最愛のご主人が突然の死。周造、これからの生活に、



### すべて自分」胸に クビにしなかつた親方

私は組合に入って、25年ぐらいいろち、現在は後継者対策部長をやっています。

見かねた先輩が、「何もしてないなら、うちの仕事をやってみれば」と言ってくれ、とありあすという気持ちでやってみました。その時の親方との出会いが私の人生を大きく変えました。

### 若竹 千佐子

東北弁で老いと向き合う63歳処女作

澤賢治の深層描写と柳田国男の遠野物語のおどろおどろしい描写も随所に出てくる。両者のファンにもお薦めしたい。

### 忘れえぬこと

「彼は使えないから、クビにしたほうが良い」と言われていた私を、「彼は大丈夫」と言って、ずっと面倒を見てくれた親方に、今でも感謝しています。

現在は別々の仕事をしていますが、その親方の実妹を貰って受けて、兄弟として相談に乗ってもらっています。私も親方みたいになるのが理想でしたが、まだ遠い存在で、親方の助言「すべて自分」を胸に、日々葛藤しています。

### 若竹千佐子

「おらおらでひとりいぐも」は記録的に売れているという。著者・若竹千佐子さんは岩手県遠野市生まれで、自伝的小説。私が中学卒業文集に書いたのが「おらおら一人いぐも」。自身の生き方の決意文にも重なり、数年ぶりで単行本を買った。

### 七打者

試合で相手チームが1死3塁でスクイズをしたが、打者がバッターボックスを出てバントしたので審判は3塁走者をアウトにした。野村は打者がアウトではないかと審判に問うが、間違いないと断言された。

「彼は使えないから、クビにしたほうが良い」と言われていた私を、「彼は大丈夫」と言って、ずっと面倒を見てくれた親方に、今でも感謝しています。

